

明治廿八年四月十九日

四月二十日裁可

内閣書記官長

# 内閣總理大臣 著

▼著 檜山幸夫

中京大学名誉教授

# 日清戦争の研究 全三巻

A5判上製クロス装・函入●各巻定価・本体8,500円+税

電子書籍 同時刊行予定!!

価格等は、KinoDen／Maruzen eBook Library／EBSCO eBooks ほか各サービスにお問い合わせ下さい。

日清戦争を多角的な観点から照射。その全体像を描く著者永年の研究の集大成。

本日十七日下ノ閣ニ於テ日清兩國金権大臣ノ記  
名調シタル媾和條約及別約御批准件  
右閣議ニ供ス

御批准す四月十九日中田和官、文附請

ゆまに書房

# 刊行にあたつて

日清戦争は、朝鮮の支配権をめぐって日本と中国との間で行われた最初の西洋的な方式と近代的兵器による宣戦布告を伴った国際法に基づく全面戦争であり、その結果、東アジア世界はそれまでの伝統的な中華国際秩序であつた華夷秩序体制が崩壊し新しい国際秩序体制に改編されていくが、日本は立憲制国家として最初の国際法に基づく戦争を体験することにより近代国家としての基礎を形成し台湾領有により帝国主義国家としての大日本帝国を完成させるという大きな歴史的事件であった。

本書は、この日清戦争を日本史の立場から歴史的な意義を追究し、その実態を明らかにするために多角的な視点から照射してその全体像を描くものであるが、合わせて一九九四・九五年に行つた日清戦争百年国内及び国際シンポジウムの成果を継承しつつ、日清戦争百二十周年の現代の研究状況を踏まえながら改めて日清戦争史論を提起していくものである。そこでの分析視角は、(1)原点に立て開戦外交と陸奥外交論を問い合わせ、(2)立憲制国家として最初の戦争であつたことから戦争と憲法について追究する、(3)史料に基づいて論証する、(4)兵士の視点から戦争を捉えその実態を明らかにする、(5)戦争が日本社会にどのような影響を齎したのかを「もとの史料」から分析する、という点にある。

本書を著す目的は、今まで行つてきた日清戦争の研究を集大成することだけではなく、従来の日清戦争研究の問題点を再考し、見落とされてきた課題を補い日清戦争の全体像を構築していくにある。

## 本書の特色

★日本の初の近代的戦争である日清戦争について、詳細な事実を追求する。

★著者の広い視野は、庶民から天皇までの一連の関わり、また文化面の影響などをひらく。

## 目次と刊行予定

### 【上巻】 はしがき 序章

### 第一章 総論 第一節 日清戦争の歴史的位置 第二節 日本人と戦争

### 第三節 「日本人」意識の形成 第四節 日清戦争と日本

### 第二章 朝鮮出兵と日朝開戦 第一節 伊藤内閣と朝鮮出兵政策 第二節 第一次朝鮮出兵事件

### 第三章 京城事件と日朝戦争 第四節 朝鮮出兵事件と海外出兵体制の形成

### 第三章 日清開戦 第一節 明治天皇と日清開戦 第二節 日清戦争宣戦詔勅草案 第三節 日清開戦と陸奥宗光の外交指導

### 第七章 日清戦争と民衆 第一節 軍事支援体制の形成 第二節 民衆の戦争支援活動 第三節 国民の戦争動員 第四節 「軍国の民」の誕生 第五節 日清戦争下の臨戦地広島

### 第八章 日台戦争 第一節 前史としての台湾出兵 第二節 台湾での戦争

### 第九章 日清戦争における外交政略と戦争指導 終章

### 【中巻】 第五章 立憲制国家と日清戦争 第一節 軍事の情況 第二節 初期作戦 第三節 中期作戦 第四節 後期作戦 第五節 戦争の結果

### あとがき

〒101-0047

東京都千代田区内神田2-7-6  
TEL.03(5296)0491  
FAX.03(5296)0493  
<http://www.yumani.co.jp/>  
e-mail eigyou@yumani.co.jp

●著者紹介●檜山幸夫（ひやま ゆきお）1949年生まれ。日本大学大学院博士後期課程単位取得満期退学。文学修士。現在、中京大学名誉教授、東アジア近代史学会会長。主要著書：『日清開戦外交の研究』（ユニテ・1994）、『日清戦争』（講談社・1997）。編著：『近代日本の形成と日清戦争—戦争の社会史—』（雄山閣・2001）『台湾植民地史の研究』（ゆまに書房・2015）など。



ゆまに書房 Tel.03(5296)0491/Fax.03(5296)0493

年 月 日

※毎度ありがとうございます。お申込みはぜひ当店へ。

取扱店  
セット

日清戦争の研究 全3巻

発行予定価格：本体25,500円+税 ISBN978-4-8433-6287-7 C3021

ご注文書

お名前  
住所

TEL ( )